

・優良賞・

三方小学校5年

👑 山中健太郎さん

●研究テーマ

三方五湖の生物や水の様子 パート6

動機

兄が行っていた三方五湖の水質調査と生き物調査に、去年から加わった。今年も今までやってきた水質調査と生き物調査を行い、これまで5年間のデータと比べたいと思った。今年の夏は寒かったので、今までの結果と違うかもしれないと思った。

内容

三方五湖の12か所で、CODを使った水質調査と網を使った生き物の調査を行った。調査したのは8月でいつもより涼しい夏だった。6年間のデータをグラフにまとめ、移り変わりを比べた。

その結果

- ①三方湖の水は4年前からだんだんきれいになっている。CODの値は今までで一番小さいが、水質は「汚れている水」
- ②年縞の湖「水月湖」と菅湖は、6年間を通してとても安定した水質で「やや汚れている水」
- ③久々子湖の水質も「やや汚れている水」だったが、CODの値は少しずつ高くなってきている。
- ④日向湖のCODの値はとても低くて安定しており「比較的きれいな水」
- ⑤今年の水温はどの湖でも低かったが、水温と水質(CODの値)には関係が見られない。
- ⑥今年みられた魚は少し小さめだった。エビの量も少なかった。
- ⑦ヒシが増えていてとても多かった。2年間、ヒロハノエビモニにからまっていた藻が今年はなくなって、ヒロハノエビモは元気に生えていた。

以上のことが分かった。

まとめや感想

今年は今までより水温が低かったけど、水温とCODの値には関係がないことが分かって意外だった。家の近くの三方湖のCODは少しずつ下がっているので、これからもっと下がってほしい。三方湖のCODが下がってきた理由を調べたい。逆に久々子湖のCODの値は上がっているので、その理由も知りたい。魚をとったりするのが好きなので、来年もこの研究を続けたい。今年網ですくった小ブナは今も家の水槽で元気です。

